

2022年8月 (No.398)

主な内容とページ

高水準から調整が本格化.....	1
中国向けが急減速.....	2
突出した日本市場向け半導体出荷.....	4
わが国半導体貿易、46年ぶりに赤字転落か.....	4
世界半導体企業41社、第2四半期、半数が増収益.....	6
米CHIPS法、危険と機会.....	10
劇的落ち込み 米半導体企業第2四半期結果.....	11
日本的イノベーション(SRL だより).....	13

高水準から調整が本格化

3年近くにおよぶ半導体ブームは終息し、調整が本格化した。

1. 半導体需要は高水準で推移しているが、メモリ、汎用MPU、中国向け等が急減速。一方でアナログIC、自動車向けなど品不足は続行、明暗が混在、先行き不透明感が強まってきた。
2. 日本向け半導体出荷が第2四半期に突出。品不足対策の結果とみられ、輸入が急増。わが国半導体貿易が46年ぶりに赤字に転落する可能性が高まってきた。
3. 不安定な経済情勢、供給不足による生産停滞から半導体市場の調整が今後は本格化。ブームの反動は、大きな衝撃をもたらすとみられ、しばらく不安定な状況が続きそうだ。

日本のイノベーション

収まらぬコロナ感染、経済の停滞に伴う閉塞感、戦争・紛争など重たく暗い社会を打ち破るイノベーションが求められている。ある学者が「回転すし」は日本的なイノベーションと解説、確かに回転すしは世界的に広がり普及している。歴史のある「すし」と「コンベア」の組み合わせが大きな市場を創り出した。

既にあるものを組み合わせることでは「カラオケ」も同じ。携帯電話にカメラ搭載は今や当たり前だが、これも当初は市場があるかどうかわからなかった。「カメラ」や薄型・軽量の「ガラケー」は日本のお家芸で、その組み合わせの日本的な商品が、世界的なイノベーションをもたらした。

最近では AI(人工知能)と組み合わせたカラオケ、バックミラー型ドライブレコーダーで、AI が周辺環境の監視や警告を行ってくれるようなおもしろそうなものが増える予感がする。マイコンの普及初期にわが国は、レジスター、楽器、マシンなどに組み込み、新たな市場を切り開いたが、今や AI チップがその役を担おうとしている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2022 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2022 年 8 月(毎月 1 回発行)第 33 巻 8 号(通巻 398 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2022

SRL Monthly Report

August 2022, No.398

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)